

## 寄贈図書リスト

翻訳のダイナミズム, スコット・L・モンゴメリ 著・  
大久保友博 訳, 四六判, 496頁, 本体4,000円+  
税, 白水社

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 平成29年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制職員特任研究員)

英語版は <http://www.nao.ac.jp/en/job-vacancy.html> をご参照ください（一部のプロジェクトのみ）。

(共通事項)

1. 年俸制職員特任研究員 募集人員は個別事項に記載
2. 今回募集を行うプロジェクト等およびその勤務地は個別事項をご覧ください。  
複数のプロジェクトへの併願は可能ですが、希望する順を書いてください。最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候補者は、プロジェクト間で重複しないように調整されます。
3. 募集分野は個別事項に記載
4. 勤務時間の半分までは、所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで、所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。職務内容の詳細は個別事項に記載。
5. (1) 平成29年4月1日以降。  
(2) 原則として着任日より3年間ですが、年度ごとに業績評価を受けていただくことになりま

す。ただし、平成16年4月以降、国立天文台にプロジェクト研究員または短時間契約職員のうち研究員として勤務した期間がある場合、通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。

更新は、個別事項に述べられている場合を除き、審査のうえ、1回に限り可能です。ただし更新後の雇用期間は2年以下で、通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した者または平成29年3月31日までに取得見込みの者。なお、平成29年9月30日までに取得見込みの者は、その旨を記載のこと。
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名をすべて明記すること）、(4) 主要論文3編以内のPDFファイル、(5) 研究計画書、(6) 推薦書を頼む場合は、推薦者の名前（2名以内）。推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。
8. 平成28年11月16日(水) 正午（日本標準時）必着（個別事項に別の指定がある場合を除く）
9. (1) 提出先メールアドレス、(2) 問合せ先は個別事項に記載。
10. 応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に確認のメールを送るので、それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること。
11. ・裁量労働制の常勤職員として月額給与35万円のほか、通勤手当が支給されます。また、年当たり50万円の研究費が配分されます。  
・米国ハワイ州外よりハワイ観測所（ハワイ州ヒロ市）に着任する場合、またはチリ共和国外よ

りチリ観測所（サンチャゴ市）に着任する場合は、手当が支給されます。

- ・文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・着任に必要なと認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます。
- ・科学研究費助成事業への応募資格があります。
- ・ただし、ハワイ観測所を勤務先とする場合は、ハワイ観測所個別事項のとおりとなります。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

#### （個別事項）

メールアドレスの<AT>はアットマーク@に置き換えてください。

#### ○水沢 VLBI 観測所

1. 若干名
2. (2) 岩手県奥州市または東京都三鷹市（採用後の研究・業務内容による）
- 3, 4. 水沢 VLBI 観測所では、VERA の運用とその観測に基づく研究を中心に、日本国内および東アジア地域の大学・研究機関等とも連携しつつ、銀河系構造、星形成領域、晩期型星、活動銀河中心核などの研究を VLBI 観測に基づいて進めています。今回募集する研究員には、VLBI を用いた観測天文学研究を推進していただくとともに、関連する装置の運用や性能評価試験、国内外の VLBI の連携強化や共同利用のサポートなどの業務を分担していただきます。また水沢 VLBI 観測所および電波天文学の将来計画策定にも積極的に加わる意欲のある人材を求めます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [apply-mizusawa<AT>nao.ac.jp](mailto:apply-mizusawa@nao.ac.jp) へメール添付で送付のこと。
- (2) 〒023-0861 奥州市水沢区星が丘町 2-12  
国立天文台水沢 VLBI 観測所所長 本間希樹  
Tel: 0197-22-7128  
e-mail: [mareki.honma<AT>nao.ac.jp](mailto:mareki.honma@nao.ac.jp)

#### ○野辺山宇宙電波観測所

1. 1名
2. (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
- 3, 4. 野辺山宇宙電波観測所は 45 m 電波望遠鏡の共

同利用運用を行っています。45 m 鏡電波望遠鏡を中心とし、研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には勤務時間の 50% を用いて、野辺山 45 m 鏡や国立天文台の運用する ALMA や ASTE 望遠鏡を主として用いて自身の研究を推進していただきます。勤務時間の残り 50% では、観測所が進めている観測装置性能向上、観測・解析の自動化に関連する運用や開発を担当していただきます。

9. (1) 応募書類は [masao.saito<AT>nao.ac.jp](mailto:masao.saito@nao.ac.jp) へメール添付で送付のこと。メールサブジェクトに「野辺山プロジェクト研究員応募」と明記してください。
- (2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-2  
国立天文台野辺山宇宙電波観測所所長  
齋藤正雄  
e-mail: [masao.saito<AT>nao.ac.jp](mailto:masao.saito@nao.ac.jp)

#### ○ハワイ観測所

1. 1名
2. (2) ハワイ観測所（米国ハワイ州ヒロ市）。ただし三鷹への出張による業務も複数回ありうる。
- 3, 4. ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用を実施し、多様な天文学研究を進めるとともに、新装置の開発や将来計画の検討を進めています。本プロジェクトでは、すばる望遠鏡を用いた観測的研究や装置開発研究を積極的に進める研究員を募集します。研究員には、自身の研究を進めるのみならず、すばる望遠鏡ならびにケック望遠鏡、ジェミニ望遠鏡等を用いた、ハワイ観測所スタッフとの共同研究も積極的に促進していただき、観測所のサイエンティフィックアクティビティー向上の一端を担っていただきます。加えて、マウナケア山頂（標高 4,200 メートル）での業務も含め、共同利用に関する観測所の業務の一部も担当していただきます。研究計画書には、自身の研究計画とともに、観測所での研究活動や観測所業務に対する抱負も記述してください。業務内容や待遇の詳細などは、下記の間合せ先までお尋ねください。
9. (1) 応募書類、評価書とも [fellow2016apply<AT>naoj.org](mailto:fellow2016apply@naoj.org) へメール添付で送付のこと。メールサブジェクトにプロジェクト研究員応募と書いてください。
- (2) Director Nobuo Arimoto  
Subaru Telescope, NAOJ

650 North A'ohoku Place, Hilo Hawaii 96720,  
U.S.A.  
Tel: 01-808-934-5900  
e-mail: arimoto<AT>naoj.org

11. ハワイ大学研究公社 (RCUH) での雇用となります。選考はハワイ観測所の審査委員会が行います。ハワイ着任のための旅費が支給されます。月額35万円の給与に、手当が上乘せされます。なお、給与・手当は、1ドル=100円の固定換算レートで、米ドルにて支給されます。

○チリ観測所

1. 3名 (ALMA 2名, ASTE 1名)
2. (2) 東京都三鷹市 (ただしチリ, 欧州, 北米, 台湾, 韓国等に出張の可能性があります)
- 3, 4. ALMAでは現在5回目の共同利用 (サイクル4) の科学運用が行われています。ALMAやチリ観測所が運用しているASTE望遠鏡を用いた研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には、ALMAやASTEなどの観測データ (アーカイブを含む) を用いて自身の研究を推進していただきます。チリ観測所内外の研究者との共同研究を含む積極的な研究提案を歓迎します。また、プロジェクト業務としてALMAまたはASTEの運用やユーザーサポートに関する以下の業務から一つ以上に寄与していただきます。

- ・ALMA: ALMA共同利用支援 (干渉計データリダクション, 観測指示書作成支援やヘルプデスクにおけるユーザーサポート, 等), ALMAに関係する開発 (装置, ソフトウェア)
- ・ASTE: ASTE科学運用支援, ASTEに関係する開発 (装置, ソフトウェア)

さらに研究会の開催や運営支援などを含むサイエンスプロモーション活動も行っています。

7. 応募書類は英文で書いてください。研究計画書には、自身の研究の計画と業務に当たった計画と抱負を書いてください。業務についてはALMA担当とASTE担当のどちらに応募するか、両方に応募する場合はどちらを優先するかも明記してください。推薦者2名に締切日までに推薦書を送付するよう依頼してください。
9. (1) 応募書類, 推薦書とも alma-postdoc-application <AT>alma.mtk.nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。メールサブジェクトに「Application (or Recommendation) for Project Fellow」と明記してください。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台チリ観測所 伊王野大介  
e-mail: d.iono<AT>nao.ac.jp

○RISE月惑星探査検討室

1. 1名
2. (2) 岩手県奥州市, または東京都三鷹市
- 3, 4. RISE (Research of Interior Structure and Evolution of the solar system bodies) 月惑星探査検討室では、太陽系天体の内部構造を調べることでよりそれらの進化と起源を探るといった研究の軸を發展させ、月だけではなく、水星, 火星, 木星系, 小惑星の探査において、新たな知見を目指して、開発と研究を行っています。現在は小惑星探査機「はやぶさ2」においてレーザ高度計による科学観測の準備を進めています。同時にヨーロッパ宇宙機関の主導する木星系探査計画「JUICE ミッション」に参画し、ガニメデレーザ高度計の開発を進めています。また、惑星探査を実現する一方で、国立天文台内外の惑星科学, 太陽系天文学, 系外惑星の研究者との協力を高めて理論的基礎を拡げていきます。本公募では、(a) スペース観測のための観測装置開発やミッション, および、それらによる太陽系内天体の研究を推進し、かつ、(b) 国立天文台内の研究グループと連携し、惑星科学研究の共同利用に貢献する若手研究者を募集します。勤務時間の50%は業務として(a), (b)を分担し、残り50%では自身の研究をRISE月惑星探査検討室の活動と融合・發展させながら進めていただきます。研究計画書には、(a)の業務に対する抱負とともに、(b)についてどのように貢献する計画をもっているかも記述してください。
9. (1) 応募書類は nori.namiki<AT>nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。件名は「RISEプロジェクト研究員 (応募)」とすること。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台RISE月惑星探査検討室  
竝木則行  
Tel: 0422-34-3911  
e-mail: nori.namiki<AT>nao.ac.jp  
件名は「RISEプロジェクト研究員 (質問)」とすること。

○JASMINE検討室

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. JASMINE検討室では、JASMINE (赤外線位

置天文観測衛星)計画の実現に向けて、衛星の様検査、重要な技術要素の実証実験、運用・データ解析の準備、今後の高精度位置天文観測データを用いたサイエンスの検討などを進めています。特に超小型衛星を用いる Nano-JASMINE 計画、JAXA 宇宙科学研究所の公募型小型計画宇宙科学ミッションでの実現を目指している小型 JASMINE 計画を中心に検討を進めています。JASMINE 検討室としては、以下のいずれか(複数でも可)を主とする研究業務(勤務時間の50%)を行うプロジェクト研究員を求めます。

- (1) JASMINE 計画に関する技術的検討、開発等
  - ・ Nano-JASMINE の観測装置の管理試験等の支援: 具体的には、打ち上げまで、観測装置の保守点検等を行う。
  - ・ 小型 JASMINE に関する、光学系、熱制御系、熱構造関係に関する技術実証実験等の支援: 例として、衛星搭載望遠鏡の性能や構造安定度に関連する試験、検出器の温度制御や廃熱に関する開発等を行う。技術実証に関するシミュレーションや解析を行うのでも可。
- (2) JASMINE 計画に関するデータ解析の準備
  - ・ Nano-JASMINE の解析ソフトウェアの維持・追加開発・検証等の支援を行う。
  - ・ 小型 JASMINE の解析ソフトウェアの設計・実装・検証を含む一連の開発作業の支援を行う。
- (3) 高精度位置天文観測データを用いた科学的成果の創出と検討
  - ・ Gaia の中間リリースデータを用いた科学的成果の創出
  - ・ Nano-JASMINE や 小型 JASMINE で期待できる科学的成果の検討

なお、上記の(3)を主とした業務とする場合でも、(1)、(2)に関しても関心をもち、可能な範囲で積極的にサポートしてもらえ方を希望します。研究計画書には、上記(1)~(3)のどれを主業務として希望するかを明示し、それに関する抱負、計画等を記載してください。

9. (1) 応募書類、推薦書とも jasmine-RS<AT>merope.mtk.nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 JASMINE 検討室長 郷田直輝  
Tel: 0422-34-3616  
e-mail: naoteru.gouda<AT>nao.ac.jp

#### ○先端技術センター

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 先端技術センターでは、主に可視光・赤外線天文学・電波天文学分野・重力波分野での開発研究を行っています。先端技術センターで現在実施されているプロジェクトのみならず、将来必須となる基礎技術の開発研究を行う研究員を、以下の分野で募集します。

なお、開発的研究のみならず、それと関連する観測的研究を併せて行うことも可能です。

- (1) ミリ波テラヘルツ波観測装置の開発  
ミリ波-テラヘルツ帯の広視野高感度の超伝導ヘテロダイン受信機・イメージング検出器の研究開発、宇宙マイクロ波背景放射の観測装置の研究開発、広帯域の光子計数型検出器およびこれらを用いた干渉技術の研究開発を行っています。超伝導デバイスなどの要素技術や極低温回路を含む検出器システムの開発などに取り組む若手研究者を募集します。
  - (2) 可視光・赤外線観測装置の開発  
すばる望遠鏡や 30 m 望遠鏡 (TMT) などに搭載する観測装置、補償光学系や可視光・赤外線検出器などの研究・開発に取り組む若手研究者を募集します。
9. 応募書類、推薦書とも Takashi.Noguchi<AT>nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台先端技術センター長 野口卓  
Tel: 0422-34-3908  
e-mail: Takashi.Noguchi<AT>nao.ac.jp

#### 東京大学宇宙線研究所特任助教

1. 助教・若干名
2. (1) 附属神岡宇宙素粒子研究施設  
(2) 岐阜県飛騨市
- 3, 4. 本研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設に所属し、次世代の大型核子崩壊・ニュートリノ検出器実現に向けた要素開発、検出器設計を、若手の中心メンバーとして行う。また、スーパーカミオカンデおよび T2K 実験において、実験装置の運用、較正、データ解析に従事し、研究を推進する。
5. (1) 決定後なるべく早い時期  
(2) 雇用は年度ごとに更新し、最長で任期5年間とします。
6. 博士号を取得している者か、確実に取得できる見

込みの者。

7. 応募者は以下(1)から(5)までの書類をe-mailに添付で提出してください。(6)の推薦書または意見書は、作成者からe-mailに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。(応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。)
  - (1) 履歴書(市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入のこと)
  - (2) 研究歴(A4判で3ページ以内)
  - (3) 業績リスト(論文リスト、研究発表リスト等)、および主要論文(3編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。
  - (4) 着任可能時期
  - (5) 着任後の研究計画(A4判で3ページ以内)
  - (6) 推薦書または意見書2通
8. 平成28年12月1日(木) 17時必着
9. (1) e-mail: application\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp  
(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)
- (2) 東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設長 中畑雅行  
Tel: 0578-85-9603  
e-mail: nakahata\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp  
(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)
10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。
11. 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い、最終選考は、面接によります。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」(平成16年4月1日制定)に定める特任助教とします。同規程に基づき、給与は経歴により決定します。
  - (2) 宮崎県宮崎市
3. 物質の状態や特性を原子や電子などの微視的な観点から理解することを目的とする物理計測分野
4. 量子力学、統計力学、物理計測に関係する科目等の担当および全学・学部・学科等の運営
5. (1) 平成29年1月1日  
(2) 平成33年3月31日まで(再任可:平成32年度に再任審査があり、再任可の場合は任期制を適用しない教員として更新)
6. 博士の学位を有し、採用時に40歳未満の方。専門分野に業績があり、学生の教育及び研究に熱意がある方。
7. (1) 履歴書 (2) 研究面における活動 (3) 教育面における活動 (4) 大学運営における活動(高等教育機関の方) (5) 学会及び社会における活動 (6) 外部資金の獲得状況(代表・分担の別を明記) (7) 研究分野、およびこれまでの教育と研究の内容(2,000字程度) (8) これからの教育と研究の抱負(1,000字程度) (9) 主要論文印刷5編程度(複写可) (10) 応募者の状況を説明できる方2名の氏名・所属・職・電話・電子メール等  
注1: 様式は<http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/events/teacher-recruit.html>に掲載しています。  
注2: (1)~(8)については印刷物とともに電子ファイル(MS Word)をCD-Rなどで提出して下さい。
8. 平成28年11月28日(月)(必着)
9. (1) 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学 工学教育研究部長 横田光広  
(2) 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学工学教育研究部(電子物理工学科担当) 山内誠  
Tel: 0985-58-7395  
e-mail: yamauchi@astro.miyazaki-u.ac.jp
10. 応募封筒は「電子物理工学科担当の助教応募」と朱書きし、書留または簡易書留で郵送すること。応募に際して提出された書類は返却いたしません。
11. 給与は年俸制(本学支給基準に基づき支給)。採用年度に限り、スタートアップ経費として最大450万円の研究費を配分します。  
※給与等に関する問い合わせ先は工学部総務係(E-mail: kousoumu@of.miyazaki-u.ac.jp) 本人事に関する詳細な情報 [http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/events/pdf/teacher-recruit/elnp\\_hy\\_20160928.pdf](http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/events/pdf/teacher-recruit/elnp_hy_20160928.pdf) を必ず参照のこと。

## 宮崎大学工学教育研究部助教

1. 助教1名
2. (1) 宮崎大学工学教育研究部・電子物理工学科担当

## 賞の推薦

山田科学振興財団 2017 年度研究援助候補  
推薦依頼

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2017年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので日本天文学会宛に提出してください。

1. 研究援助趣旨
  - 1) 萌芽的・独創的研究
  - 2) 新規研究グループで実施される研究
  - 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
  - 4) 国際協力研究

## 2. 援助対象期間

2017年9月～2019年3月

[日本天文学会締切日] 2017年1月24日(火) 必着

[申請書送付アドレス] jimucho@asj.or.jp

- ・申請書は、メールのPDF添付ファイルとして上記のアドレスにお送りください。
- ・件名は、「山田科学振興財団 2017年度研究援助応募 氏名…」としてください。
- ・受け付けましたら確認のメールを差し上げます。ご質問等は上記アドレスにご連絡ください。
- ★ 2017年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙は下記ホームページからダウンロードしてください。  
山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

## 研究会・集案案内

## 名古屋大学大学院理学研究科・名古屋市科学館共催 第15回 坂田・早川記念レクチャー

「タウニュートリノの発見」

丹羽公雄氏(名古屋大学名誉教授)

平成28年12月17日(土) 開場13:30 開始14:00

終了予定16:30

名古屋市科学館サイエンスホール

- 対象: 高校生以上
- 定員: 300名(申込み制, 多数の場合は抽選) 参加には科学館の観覧料が必要です。(高校生・大学生200円, 大人400円)
- 講演会ホームページ: <http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/SakataHayakawa/index.html>  
～集まれ、科学者を夢見る若者たち!～  
名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻は、素粒子物理学と宇宙物理学の両分野における世

界の研究の発展に寄与し、ノーベル賞受賞者をはじめ、多くの人材育成にかかわってきました。坂田・早川記念レクチャーは、坂田昌一・早川幸男両教授の業績をたたえつつ、21世紀を担う研究者の発掘および育成を目的として設けられました。

第15回となる今回は、独自の検出装置によって世界で初めてタウニュートリノの検出に成功した丹羽公雄氏をお招きします。タウニュートリノは3種類あるニュートリノのうちの一つです。丹羽氏らが開発した原子核乾板技術によって、物質を構成する素粒子の中で最後に発見されました。丹羽氏が発明した原子核乾板飛跡読取装置は、膨大な枚数の原子核乾板からニュートリノの飛跡を探す作業効率を飛躍的に向上させ、今日ではピラミッドの秘密の部屋を探るなど新領域の探索にも不可欠のツールとなっています。講演では、新分野を開拓してきた研究人生についてお話しいたします。

申込方法: 講演会ウェブサイトの専用フォームからお申込みください。

(申込みで寄せられた個人情報、本セミナーの運営に必要な範囲でのみ使用します)

申込締切: 11月27日(日)

問合せ先:

内容についてのお問い合わせ

〒464-8602 名古屋千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科F研

担当: 中野敏行

Tel: 052-789-3532

e-mail: sakata-hayakawa2016@flab.phys.nagoya-u.ac.jp

申込方法、会場に関するお問い合わせ

〒460-0008 名古屋市中区栄2-17-1 名古屋市科学館

担当: 天文係 中島亜紗美

Tel: 052-201-4486 (代)

注: 高校などでまとまって参加希望される場合は、お問い合わせください。

## 会務案内

## 欧文研究報告(PASJ)の本文掲載料改訂

欧文研究報告(PASJ)では、69巻(2017)に掲載の論文から頁あたりの本文掲載料単価を下記のとおり2種類とすることにいたしました。

基本料金: 6,000円

正会員割引料金: 4,300円

筆頭著者に限らず1名でも本会正会員が著者に含ま

れていれば、正会員割引料金として従来の本文掲載料単価4,300円を適用します。本会正会員が含まれていない論文の単価は6,000円です。

正会員割引料金を適用するには、WEB上での掲載料支払手続きの際に正会員の方の会員番号とお名前を入力していただく必要があります。正会員が複数であってもどなたか1名のみで結構です。

正会員の方による論文については単価据え置きとなりますので、今後より多くの正会員の方々にPASJへ投稿していただくようお願いいたします。

(欧文研究報告編集委員会)

## 災害救助法適用地域で被災した場合の会費の免除について

2016年台風第10号で被災した皆様にお見舞い申し上げます。

日本天文学会では、自然災害によって被害を受けた会員の方々の経済的な窮状を僅かではありますが軽減していただくこと、会費に関する細則において、以下の規定を設けております。

(会費の免除)

第4条 日本天文学会に届け出の住居または勤務地が災害救助法適用地域に該当する会員のうち、希望する会員は当該年度の会費、当該年度の会費をすでに納入済みの場合は次年度の会費を免除する。

この細則に基づき、災害発生日に会員であった以下の方について、2016年度もしくは2017年度の会費を免除させていただきます。

(1) 日本天文学会事務局に届けていた住居、または勤務地が災害救助法適用地域に該当する会員のうち、希

望する方

(2) 生計を支える者が上記の地域に居住し被災した会員のうち、希望する方

(3) その他の事情で被災した会員のうち、希望する方  
災害救助法適用地域につきましては、内閣府ホームページの防災情報のページに掲載されておりますので、ご確認ください。

この措置の適用を希望される方は、以下の必要事項を日本天文学会事務局宛に、メール(jimu@asj.or.jp)、郵送(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内日本天文学会)、またはファックス(0422-31-5487)でお送りください。

なお、本制度は学会事務局等からの告知の有無にかかわらず、災害救助法の適用があれば会費が免除されます。法律が適用になっているかどうかは判定基準であり、災害・被災の規模の大小にはよりません。また、申請時には公的な被災証明書なども不要です。

学会理事等ではすべての災害発生を把握できませんので、災害救助法の適用があったすべての場合にお知らせできるとは限りません。もし、災害救助法適用地域で被災された場合は、学会事務局からの連絡の有無にかかわらず、申請いただくと幸いです。

《申請に必要な情報》

- ・氏名
- ・会員番号または住所
- ・被災区分(上記(1),(2),(3)のいずれか)
- ・被災状況(上記(2),(3)に該当する方は必ずご記入ください)

(例: 両親が被災した、該当地域を旅行中に被災し負傷した、など)

(日本天文学会会長・会計理事)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成28年10月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2016年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)